

**戦争法廃止・2000万署名にご協力を！**

ご町内のみなさん、日本共産党です。夏の参議院選挙では35歳の若さあふれる女性政治家・わたなべ・わたなべ結がお世話になります。平和守れ、暮らし守れの願いをどうか日本共産党・わたなべ結に託して下さい。

参議院選挙では、平和と安全をどう守るのが大きな争点の一つです。日本共産党は、安保法制―戦争法―は廃止せよ、憲法9条を守れと全力で奮闘しています。平和への願いをどうか日本共産党に託して下さい。

自衛隊がつくられて62年、この間に自衛隊員は1人も戦死せず、1人の外国人も殺していません。自衛隊が何度も海外に送られながらも、1人の戦死者も出さなかったのは、戦争しない、軍事力をもたないと定めた憲法9条の制約があったからではないでしょうか。

ところが、安倍政権が昨年9月に強行した安保法制―戦争法―は、「海外で武力行使をしない」という歯止めをなくしてしまいました。自衛隊は、銃弾が飛びかう「戦闘地域」に出かけていき、米軍に武器弾薬の補給や、米軍を防護する任務につくことが可能になります。

さらには日本政府が必要だと判断すれば、日本が攻撃されていなくても、米軍と肩を並べて武力行使に踏み出すことができるようになります。

安保法制―戦争法―は、自衛隊員を危険にさらし、相手国に日本を攻撃する口実をあたえ、日本人をテロの標的にするきわめて危険な法律です。一刻も早く廃止させようではありませんか。

ご町内のみなさん、いま全国で2千万人の方から戦争法廃止の署名を集めようと、市民団体、大学の先生、若いお母さんたち、多くの若者たちがとりくんでいます。どうか署名にご協力ください。

日本共産党・わたなべ・わたなべ結は、憲法9条を守れ、戦争法は廃止せよと、全力でがんばります。みなさんの平和への願いを国会へ届ける、日本共産党とわたなべ結へのお力添えをどうかよろしく願いいたします。（2分半）

**野党共闘と国民の世論で安倍暴走政治にストップを！**

ご町内のみなさん、日本共産党です。夏の参議院選挙では35歳の若さあふれる女性政治家・わたなべ・わたなべ結がお世話になります。平和守れ、暮らし守れの願いをどうか日本共産党・わたなべ結に託して下さい。

国会でどんなに多数の議席をもつ政権党でも、憲法は守らなくてはなりません。これが立憲主義の基本です。ところが安倍政権は、昨年9月、これまでの自民党政権が憲法上できないとしてきた、集団的自衛権の行使を容認する安保法制―戦争法―を強行してしまいました。時の政権が、憲法を無視して暴走をはじめたら、それは独裁政治の始まりではないでしょうか。

戦争法だけではありません。法をねじまげて、沖縄県民の8割が反対する新基地建設を強行する、国民の知る権利を奪う秘密保護法を強行する、政権に批判的な報道をするテレビ局に対し電波停止の脅かしをかけるなど、いま安倍政権によって、日本の法治国家としての土台が壊されようとしています。

日本の民主主義が危機的な状況におちいるもとの、2月19日、日本共産党を含む野党5党が、国民の世論と運動に背中をおされて、安保法制廃止、安倍政権打倒、国政選挙の協力など4項目で合意しました。

それからわずか1ヶ月の間に、32ある参議院の1人区のうち9つの選挙区で野党統一候補の擁立が決まり、さらに広がっていく見通しです。4月24日、衆議院北海道5区補欠選挙でも野党統一候補ががんばっています。

野党共闘の前進を一番恐れているのは、政権与党の自民・公明、そしてその補完勢力であるおおさか維新です。彼らは、「野合だ」と攻撃を仕掛けてきていますが、立憲主義と民主主義の回復というこれ以上ない大義をかかげた共闘であり、決して「野合」ではありません。

ご町内のみなさん、安倍政権打倒をめざす野党共闘がもっともっと広がるよう、ぜひとも応援して下さい。日本共産党・わたなべ・わたなべ結は、戦争法廃止、国民連合政府実現、そして野党共闘の前進をめざして全力で頑張ります。ご支援をお願いいたします。（3分）

**アベノミクスやめよ、消費税増税中止を、待機児解消へ緊急対策を！**

ご町内のみなさん、日本共産党です。夏の参議院選挙では35歳の若さあふれる女性政治家・わたなべ・わたなべ結がお世話になります。平和守れ、暮らし守れの願いをどうか日本共産党・わたなべ結に託して下さい。

参議院選挙では、暮らしと経済の問題が大きな争点の一つです。アベノミクス政策のもとで、大企業は史上空前の利益をあげる一方で、働く人の実質賃金は4年連続マイナスで5%も減りました。年収400万円の人であれば、20万円もの目減りです。アベノミクスの失敗はいよいよ明白になってきたのではないのでしょうか。

ご町内のみなさん、安倍政権は、大もうけを上げている大企業には3年間で3兆円もの大減税をやる一方で、低所得者ほど負担割合が大きい消費税を来年春に10%に引き上げようとしています。昨年8%への増税による負担分をあわせると、軽減税率があったとしても、この3年間で1世帯18万4千円もの負担増です。公明党の人たちは「軽減税率で生活が楽になる」と言いますが、とんでもありません。暮らしも経済も壊す消費税10%増税は中止せよ、この声を日本共産党に託してください。

ご町内のみなさん、若いお母さんの「保育園落ちた。日本死ね」というインターネット上での叫びが、政治を動かしています。いま大阪でも保育所待機児が急増しています。その大きな要因は、橋下前市長らが公立保育所の統廃合をすすめ、民間まかせにしてきたことと、保育士の給料が平均より月11万円も安いという待遇の悪さにあります。

日本共産党は、待機児の解消はまったなしの課題だとして、自治体による緊急保育の実施、国による新たな財政支援、そして保育所が見つからず育児休業をとる母親の雇用を守る、この三つを強く要求しています。

日本共産党・わたなべ・わたなべ結は、皆さんと力を合わせ、国民の声が通る政治をつくります。大きなご支援を心からお願いいたします。（3分）